

## 令和元年度 第3回 大阪市立常盤小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立常盤小学校  
校長名 三島 公徳

日 時	令和2年3月11日（水）～25日（水）	
場 所	大阪市立常盤小学校（郵送及び電話、メールにて）	
出席者	委員など	福田雅史（会長） 高岡祥介（委員） 藤田実由貴（委員） 中定浩（委員） 石井有美（委員）
	校園	三島公徳（校長） 林真美子（副校長） 松本守隆（教頭） 辻野拓也（教務主任）
	区役所	
議題	(1) 運営に関する計画 最終評価について (2) 学校改善に向けた意見交換について (3) その他	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 取組内容及び達成状況について了承された。	<ul style="list-style-type: none"><li>【子どもが安心して成長できる安全な社会の実現】については、年度目標としては、Cとなり目標を達成できなかった。</li><li>「安全で安心できる学校、教育環境の実現」における防災教育については、目標を上回って達成できた。校内での訓練のほか、今年度は、地域・家庭と連携を図り、大規模な防災学習を行うことができ、大災害に対する地域全体の危機意識の向上につながった。新たに不登校になる児童は減少傾向にある。</li><li>不登校をはじめとする児童が安心して登校できる学校づくりについては、目標を達成できず Cとなった。ほっとスペースの有効活用や地域等の協力も得ながら、教職員全体での共通認識・理解をより充実させ児童が安心して学校で過ごせるようにする。</li><li>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】については、学力経年調査における全市共通目標において、Cとする。標準化得点を同一母集団で比較した結果、下落した学年もあり、目標を達成できなかった。本校においても、学力の二極化が課題であり、きめ細やかな指導ができるよう、学びサポーター等を取り入れている。基礎基本を確実に習得できるよう今後も取り組んでいく。</li></ul>

	(2) 理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童の対応について、ほっとスペースに常置できる生活指導支援員は、今年度は週2日に減り、学年の協力を得ての運営となつたが、教室への登校につながり、効果も少しづつ出てきている。</li> <li>・放課後の遊び場所について、4年生以上には、曜日を決めて放課後開放を行つた。利用する児童が固定してきている傾向があるため、活用について引き続き啓発していく。</li> </ul>
	(3) 理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の影響で、学校が休業となり、子どもたちの学習や健康面が心配である。少しでも早い終息を願うとともに、休業となつた期間の補習等、何らかの対策を検討していく。</li> </ul>
協議資料	<input type="radio"/> 「運営に関する計画」 最終評価について	
備考	傍聴者なし	